

特集☆安心して子どもを生み育てるために

あなたの笑顔 その先にあるもの。

—— 幼い子どもの無邪気な笑顔に思わずほおが緩む。誰もがそのような経験を持つているはず。子どもは一瞬にして周りを明るくする力がある一方、周りの支えなくしては生きていけません。健やかな成長のためには、親が愛情を込めてしっかりと育てるだけではなく、広い世代にわたる多くの人や地域全体でその親子を支えていくことも大切です。



にて 出産 向け

おなかに新しい命が宿った時から子育てが始まります。妊娠の可能性がある場合、まずは医療機関で診断を受けましょう。医療機関で発行される妊娠届出書を保健センターへ提出すると**母子健康手帳**が交付されます。これは、妊婦健診や出産の状況、乳幼児健診や予防接種など母子の健康状態を記録する大切な手帳です。妊娠中の生活や育児についてのアドバイスなども書かれています。



▲マタニティマーク
▶母子健康手帳
※平成23年度版に選ばれた表紙デザイン

安全な出産を迎えるため、必ず定期的に**妊婦健診**を受

やかに 育む

保健センターでは、生まれてきたお子さんが健康で、順調に成長・発達してくれることを願い、さまざまな事業を行っています。生後4カ月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に、**育児相談**や**保健指導**のため保健センターの助産師や保健師などが訪問しています。また、月齢に応じて、**乳幼児健康診査**（健診）を行っています。小児科医師が診察するほか、保健師や栄養士、助産師、歯科衛生士、看護師などが、お子さんの発育や育児の状況について相談に応じています。

◎**4カ月児健診**：身体発育や首の据わりなどの運動発達の状況を確認するほか、BCG予防接種も

病気を 防ぐ

母親から子どもに受け継がれる病気に対する抵抗力（免疫）は、生後12カ月までにほとんど自然に失われていきます。そのため、生後3カ月を過ぎると、赤ちゃん自身で免疫をつくり病気を予防する必要があります。それを助けるのが**予防接種**です。

札幌市では予防接種法に基づいて定期的予防接種を実施しています。予防接種の個人通知はしていませんので、必ず母子健康手帳別冊**予防接種のしおり**をご確認ください。子どもを病気から守るため、接種可能な年齢に達したら、早めの予防接種を心掛けましょう。

